

**Monthly Repo. ならやま**

徳地 恵男

3月25日(木) 臨時活動 小雨 32名

3月26日(金) 振替活動 晴れ 44名

25日は  
小雨模様の中  
で午前中の活  
動となる。26  
日は春本番、BC  
の「川井桜」



(サトザクラ)は満開となる。里山Gは部分皆伐とマキ割り、エコGはゴボウの種まき、シイタケ、ワケギなどの野菜を収穫する。景観Gは展望広場のり面の草刈り、竹林の整備をする。花班はアガパンサスの霜よけを片づける。パトGからショウジョウバカ



マが咲いていることを報告、果樹Gは実りの森ヘイチジクの移植を行う。

4月1日(木) 活動 晴れ 84名

昼の時間に新入会員13名中、本日まで参加の4名を迎えて歓迎会がある。協働活動の日でもあり、午前中里山Gの指導で里山林の樹木調査に参加する。午後からはパトGによる春の自然観察会が実施され27名が参加、美しいコバノミツバツツジや



ウワミズザクラの開花を見る。里山Gは部分皆伐地域の整備、エコGはヤマイモの種イモを植え、畝に黒マルチを張って春野菜の植え付け準備をする。ピオ班は西池の水生生物調査を実施、これから定期的に調査を行うようになる。花班は山野草園の除草、果樹Gは鹿よけ防護柵を設置する。

4月8日(木) 活動 晴れ 81名 見学者1名

コロナ感染第4波で奈良、大阪に蔓延の危機、手洗い励行を喚起する。久しぶりに実施された笠置山登山の例会、奈良公園の自然観察会の報告があり、新たに3名の新会員の紹介と挨拶がある。

里山Gは部分皆伐とチップ作業、クラブユートピアは赤松林の土壌改良に励む。エコGはナバナの最後の収穫、種を蒔いたハウレンソウなどの苗が順調に育つ。景観Gはタケノコ掘りと真竹竹林の再整備、ピオ班は西池の泥さらえ、花班は花畑の草取りと施肥を行う。パトGは2コースのパト、道案内板、樹木銘板の取り付けを行う。果樹Gは杉の皮むきと記念樹富有柿に鹿対策として有刺鉄線で保護柵を作る。

4月15日(木) 活動 晴れ 73名

すがすがしい春の一日。活動が終わった後、楽しみにしていた五月人形を一緒に作る。大小の竹を材料に兜をかぶり、刀と軍配をもつ武者人形ができる。竹トンボを作る経験しかなかったが、越前竹人形に負けない作品となる。3月の雛人形に続き放課後クラフト教室は盛会。次回が楽しみ。



活動しやすい季節が到来し各グループの作業は進む。ならやまの樹々の緑は濃くなり草も伸びだしてくる。しかし、昨年大豊作だったタケノコが今年は期待通りには採れない。